

整備については、木入道新地線の整備を進めますが、当路線の国道448号から県道永吉高山線までの区域は16年度で完了しますので、今後は、県道永吉高山線から国道220号までの整備計画を進めます。また、神領丸尾線および西迫岡別府線の整備を引き続き実施するとともに、新たに仮宿下原線の歩道整備を図ります。さらに、加治木堀原別府線の国道269号取り付け部と、平良平良上線も整備します。

河川改修事業では、治山・利水の観点から準用河川持留川の中山地区護岸工事を継続事業として実施します。

都市計画事業におきましては、豪雨時の市街地浸水解消対策として、三文字地区都市下水路工事に取り組みます。国道・県道関係では、国道448号バイパス工事が16年度で完了の予定です。

『高齢者対策関係』

寝たきりやひとり暮らしの高齢者に対し、火災警報器や自動消火器等の給付、さらに、在宅寝たきりの高齢者等の寝具を洗濯・乾燥・消毒し、清潔で快適な生活ができるような支援事業の実施により、

介護者の負担を軽減し、在宅福祉の向上に努めます。

また、たくさんの元気な高齢者の方々に生きがいを持って生活をしていただけるような環境をつくるのが大切であり、それが医療・介護の予防措置にもつながるものと考えています。そういった意味で、『生涯現役の町実現』に向けた施策の一つとして、本年度は、『マスターズプロジェクト推進事業』に係る経費を新たに計上しました。これは、高齢者の筋力の維持・向上を図り、自立した生活の確保を支援しようとするものですが、鹿屋体育大学と連携して進めていくことにしています。

『福祉保健関係』

女性の社会進出や核家族化等に伴い、保育所の必要性が益々大きくなっていく現状を踏まえ、子育て支援、保育体制の整備を図るとともに、保育児童等の安全を確保するため、老朽化した野方保育所の改築と併せて、放課後児童クラブを設置することとしています。このほか、近年の保育ニーズの多様化に対し、より柔軟な対応が求められていることから、16年4月から菱田保育所を民間移管することにしました。

また、町民の健康を確保するという観点から、保健センターを拠点に『健康教室等の開催』や、新たに『肺がん検診』を加えた各種の健診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療を推進します。

環境関係では、『生ごみ』分別収集を全町的に取り組み、ごみの減量化と資源化を図るとともに、合併処理浄化槽設置補助金制度も引き続き実施し、住環境の整備、河川等の水質汚濁防止等、環境保全に努めます。

『教育関係』

14年度から持留小学校が、文部科学省のフロンティアスクールの研究指定を受け、研究した成果を地区内外に中間発表し、大きな反響を呼んでいます。11月の研究公開の成果が、町内各学校へ波及するように努めます。同じく14年度からの継続事業である立小野小学校特認校制度やふるさと教育支援事業も、その成果を見極めつつ継続します。

文化振興の関係では、昨年度までに全面調査しました遺跡の報告書作成業務を通して、貴重な文化財の保存活用に努めます。

青少年教育に関しましては、自然体験・生活体験・異年齢集団に

よる活動やボランティア活動などの機会を提供し、様々な体験を通して心豊かな青少年の育成を図るとともに、人材育成のための海外派遣事業を実施し、国際化時代に対応した青少年の育成に努めます。

スポーツの関係では、軽スポーツの普及・振興を図りながら、生涯にわたる健康づくりのためのスポーツ・レクリエーション活動の推進に努め、併せて、自主運営による総合型地域スポーツクラブの設立を検討していくとともに、スーパースタジアム構想につきましても、より具体的な調査と検討を重ねます。

『総務関係』

行財政の効率化・スリム化の取り組みが求められていますので、今年度は役場全体の事務事業等の見直しを行うために、職員による事務改善委員会と町民からなる行政改革調査専門委員会を立ち上げ行財政改革を進めます。

企画関係では、定住促進施策として町有土地および民間資本を活用した定期借地権付分譲マンション事業に取り組んでいます。今年度はマンション外構工事に着手します。全国でも3例目となるこの事業が成功し、本町活性化につ

ながることを期待しているところ

です。商工業振興関係では、商工会振興事業補助事業や商工振興資金貸付事業を引き続き実施していくとともに、商工会主催の『おおさき夏まつり花火大会』への支援を予定しています。

『水道会計』

水道は安全でおいしい水を供給できるように努めるとともに、独立採算を原則に、企業会計の健全な事業の経営と住民へのサービスに努めますが、今年度は国道220号木入道地区の配水管布設替工事、水之谷・中沖地区中央監視装置設置工事を予定しています。

『公共下水道事業特別会計』

14年度末に三文字・上町・後迫等の約90ヘクタールの区域で供用を開始いたしました。関係住民のご理解をいただき、受益者負担金を約97%の方々に納めていただき、下水道への接続率も約85%となる見込みです。15年度末には、新たに約12ヘクタールで供用を開始し、本年度からは仮宿地区の整備を進めます。